

## 関係課室ヒアリング 調査概要

### 1. 関係課室へのヒアリング調査

#### 1.1. 目的

令和 7 年度を初年度とする「田辺市デジタル田園都市総合戦略」（以下「新総合戦略」という。）の策定に向けて、庁内関係課室に対して、新総合戦略（計画期間：令和 7 年度～令和 9 年度）で取り組む事業に関する調査を実施する。

#### 1.2. 実施概要

| 項目      | 内 容   |
|---------|---|
| 調査方法    | <ul style="list-style-type: none"> <li>第 2 期総合戦略における各事業を評価検証した「評価検証シート」、および新総合戦略に関する「調査シート」を企画広報課から関係課室に配信</li> <li>関係課室の各担当者は、「評価検証シート」を参考に、「調査シート」に入力</li> <li>必要に応じて、ヒアリング調査を実施</li> </ul>   |
| スケジュール  | <p>① 「評価検証シート」・「調査シート」を関係課室に配信<br/>→ 10 月 21 日（月） 配信（予定）</p> <p>② 担当者はシート入力後、企画広報課に提出<br/>→ 11 月 8 日（金） 提出締切（予定）</p> <p>③ 記入されたシートに基づき、新総合戦略（素案）を作成<br/>必要に応じてヒアリング調査を実施<br/>→ ヒアリング調査 11 月中旬～下旬実施（予定）</p>  |
| 評価検証シート | <ul style="list-style-type: none"> <li>第 2 期総合戦略の評価検証調査をベースに、各 KPI・事業の分野に該当する、以下の各種調査結果を追加</li> </ul> <p>【各種調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ アンケート調査（結婚・出産・子育て／移住／進路／第 2 期総合戦略の重要度・評価）</li> <li>✓ 関係団体ヒアリング調査</li> <li>✓ 地域幸福度（Well-Being）指標</li> </ul> |
| 調査シート   | <ul style="list-style-type: none"> <li>重要業績評価指標（KPI）の目標値の設定（令和 7 年度～令和 9 年度）</li> <li>新総合戦略で取り組む事業の抽出</li> <li>デジタル化に関する事業の抽出</li> <li>人口減少対策、防災に関する事業の抽出</li> </ul>  |

### 1.3. 評価検証シート

第2期総合戦略におけるKPI・事業を評価し、新総合戦略策定の基礎資料とするため、田辺市により作成済みの評価検証調書をベースに、各KPI・事業の分野に該当する、以下の各種調査結果を追加し、評価検証シートを作成する。

評価検証シートのサンプルを作成した。(※資料8)

#### 【各種調査結果】

- ① アンケート調査（結婚・出産・子育て／移住／高校生／第2期総合戦略の重要度・評価）（※資料1～4）
- ② 関係団体ヒアリング調査（8/27～30、9/10～11、10/3～4）
- ③ 地域幸福度（Well-Being）指標

#### (1) 地域幸福度（Well-Being）指標

- ・ デジタル庁による「2024年度版（令和6年度版）Well-being全国調査」において、客観データおよび田辺市100人による主観データを確認した。  
(<https://well-being.digital.go.jp/dashboard/>)
- ・ 全国10万サンプル回収のうち、田辺市の回答者数が100であり、あくまで参考データとして取り扱う。

#### OR6アンケート調査設計

| 項目                     | 調査概要  |
|------------------------|---|
| 調査内容                   | <ul style="list-style-type: none"><li>100以上確保できる自治体の数を極大化するため、母集団構成比による回収は考慮せず、自治体の規模に応じて回答数の目標値を設定した調査</li><li>政令指定都市で最低1,000、東京23区で400、令和3～5年度補正デジType2/3/S採択自治体及びスーパーシティ・デジタル田園健康特区で400、その他自治体は100を回収目標として設定</li></ul> |
| 調査手法                   | インターネット調査   |
| 対象地域                   | 全国  |
| 対象者条件                  | 18歳～89歳の男女  |
| 設計サンプル数<br>(回収目標数)     | 100,000   |
| 回収サンプル数<br>(有効回答数)     | 101,498   |
| 対象自治体数<br>(うち回答数100以上) | 684団体（668団体）  |
| 設問数                    | 51問（必須50問＋オプション設問1問）  |
| 調査期間                   | 2024年5月14日（火）～2024年5月20日（月）   |

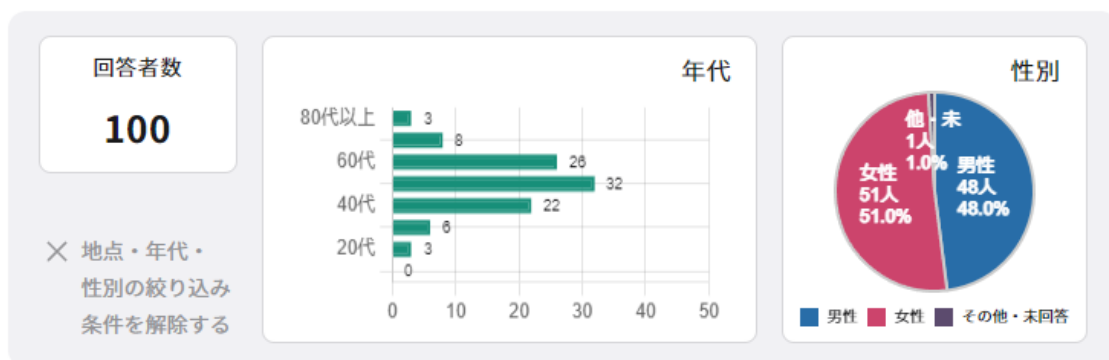
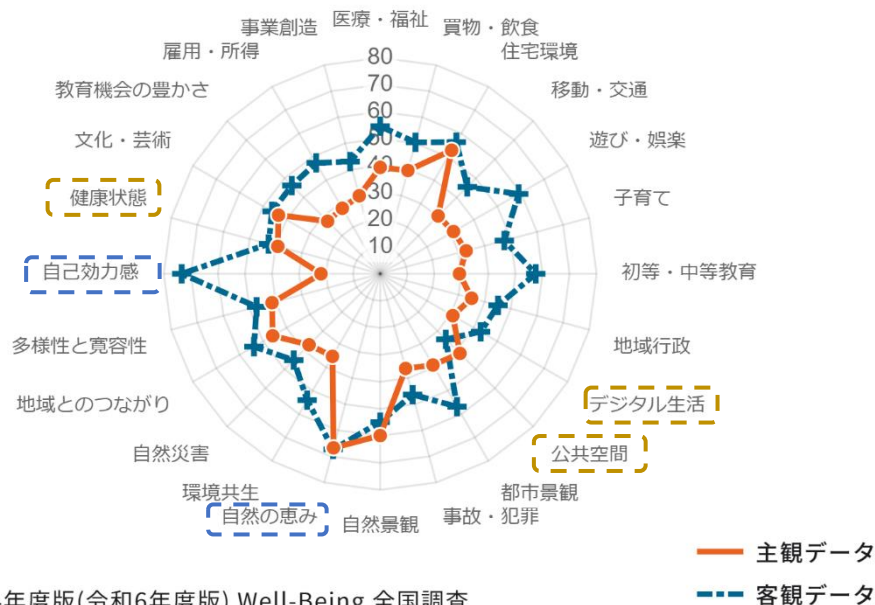


図 1 2024 年度版（令和 6 年度版）Well-being 全国調査 田辺市回答者数

- ・ アンケート調査による主観データと、オープンデータによる客観データを偏差値化している。
- ・ 田辺市の客観データでは、自己効力感（73.4）、自然の恵み（67.3）等の偏差値が高い。一方、公共空間（34.3）、健康状態（42.7）、デジタル生活（42.9）の偏差値が低く出ている。

## カテゴリー別



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

図 2 2024 年度版（令和 6 年度版）Well-being 全国調査 田辺市 主観・客観データ

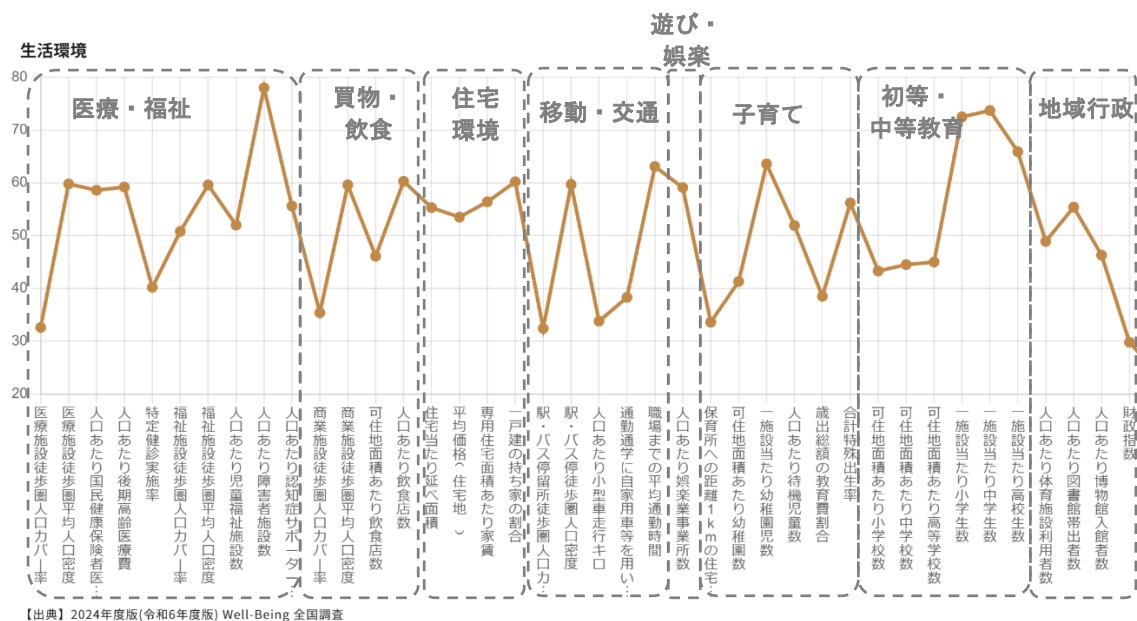


図3 2024年度版（令和6年度版）Well-being 全国調査 田辺市  
客観データ（生活環境その1）

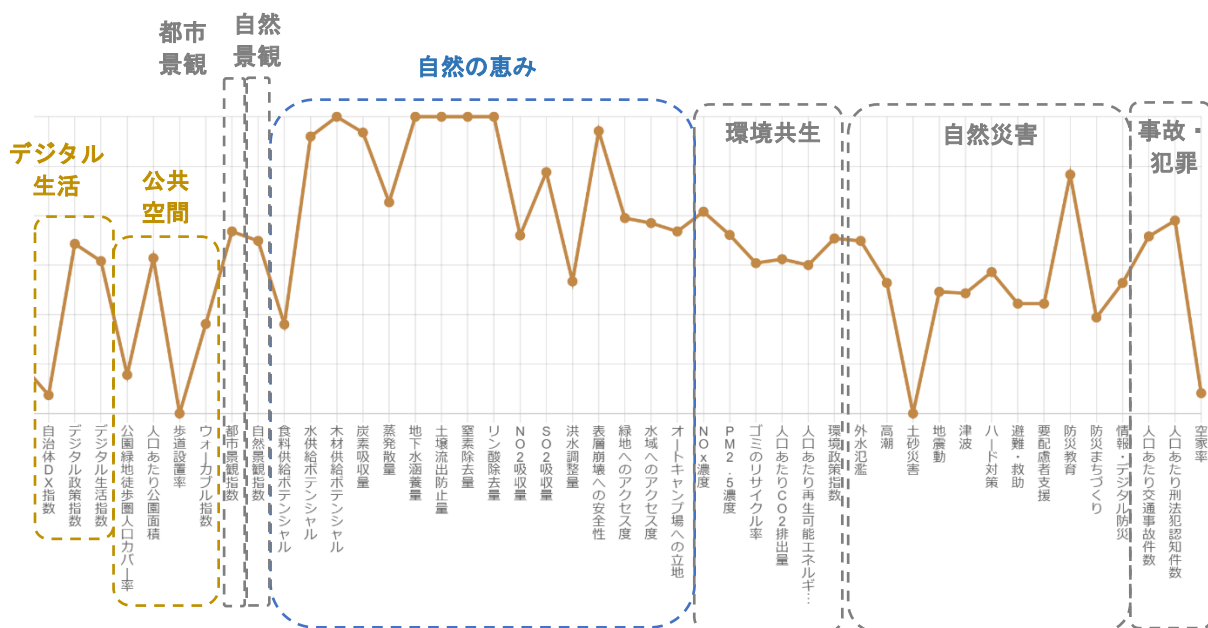


図4 2024年度版（令和6年度版）Well-being 全国調査 田辺市  
客観データ（生活環境その2）

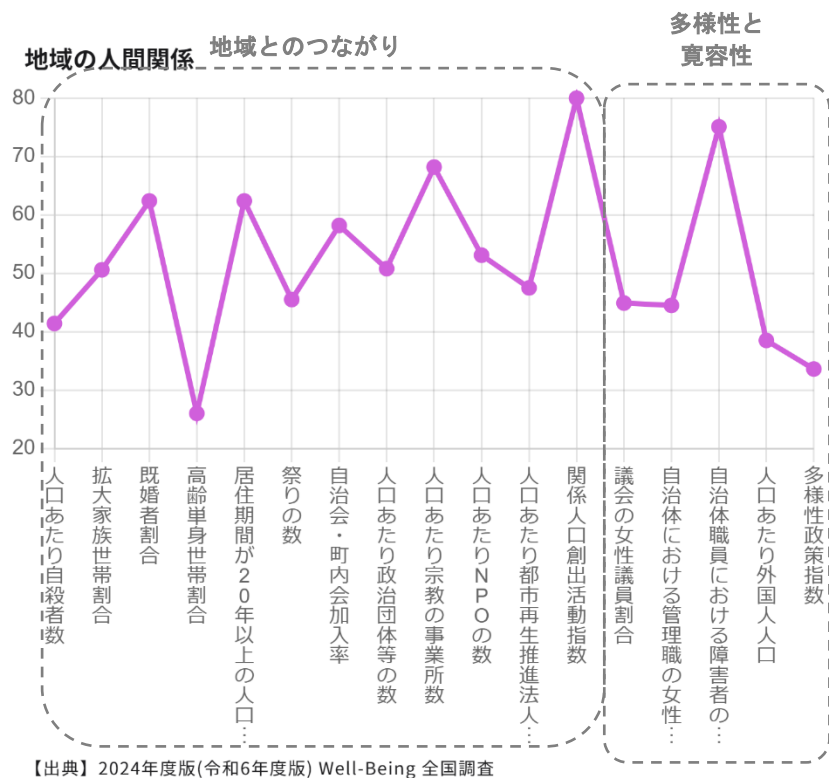


図5 2024年度版（令和6年度版）Well-being 全国調査 田辺市  
客観データ（地域の人間関係）

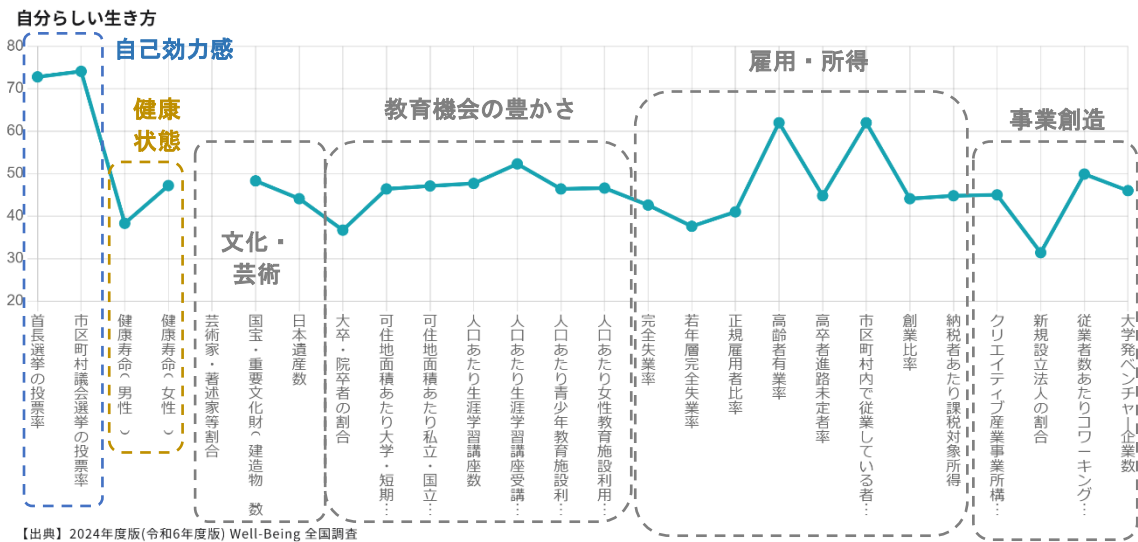


図6 2024年度版（令和6年度版）Well-being 全国調査 田辺市  
客観データ（自分らしい生き方）

- ・ 主観データと客観データの偏差値を使い、SWOT 分析の 4 つの象限に振り分けた。
- ・ 主観と客観の偏差値 50 以上の「S（強み） & O（機会）」には、「自然の恵み」「自然景観」「住宅環境」が振り分けられ、これら田辺市固有の強み&機会をどう活かすかという視点で総合戦略への反映することが考えられる。
- ・ 例えば…
  - 「住宅環境」は「適度な価格で、十分な広さの居住空間を確保できるか？」という測定趣旨で計測されており、田辺市の居住空間は良好であると推測できる。
  - 「事故・犯罪」カテゴリーの客観データ「空家率」の偏差値が 24.1 と非常に低く、空家が多いことがわかる。
  - 関係団体ヒアリングにおいて移住者への空き家支援などへの意見が多く聞かれたことから、良好な居住空間レベルを維持した空き家活用が重要なのではないかと考えられる。

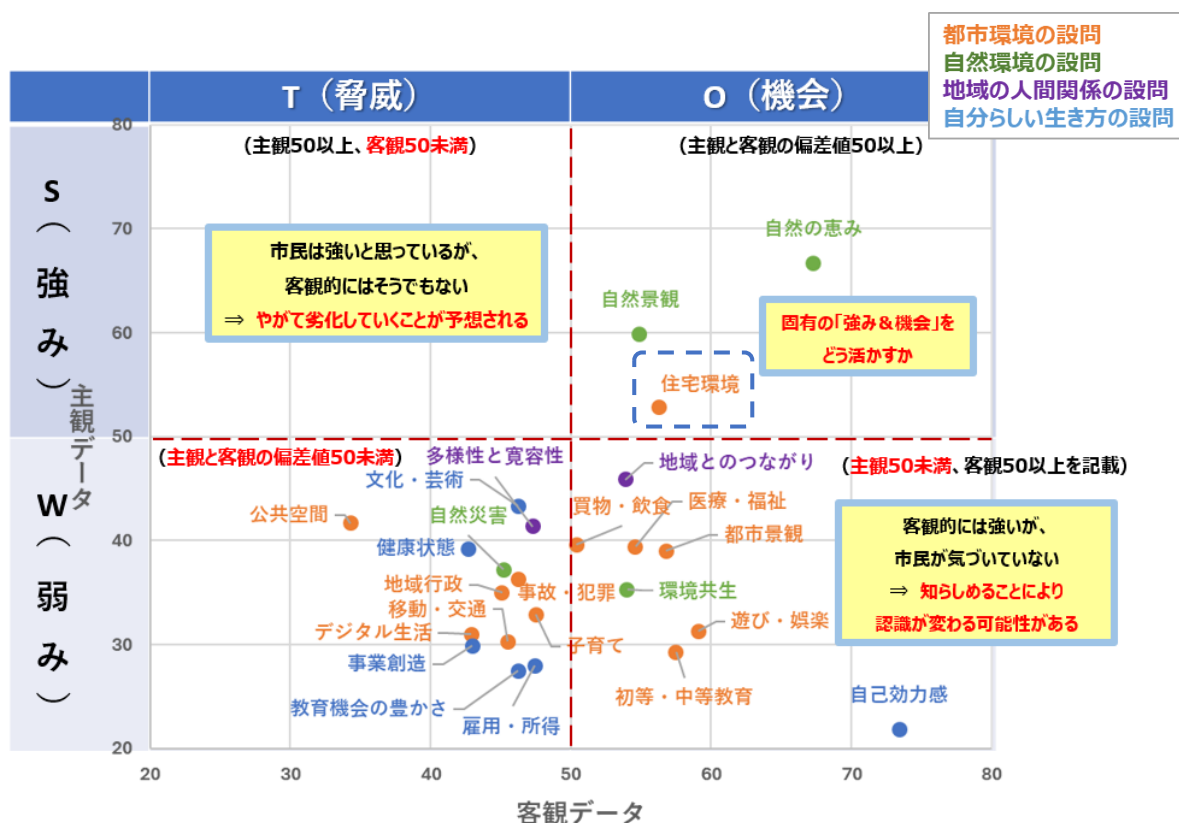


図 7 2024 年度版（令和 6 年度版）Well-being 全国調査 田辺市 SWOT 分析

- ・ 第 2 期総合戦略に各施策と、地域幸福度（Well-Being）指標の 24 のカテゴリーの対応を整理した。（※資料 9）

#### 1.4. 調査シート

- ・ 前回調査における【庁内関係課室ヒアリング】ヒアリングシートをベースに、内容を第2期総合戦略に更新し、以下の項目を調査する。（※資料10）

（調査項目）

- ✓ 重要業績評価指標（KPI）の目標値の設定（令和7年度～令和9年度）
- ✓ 新総合戦略で取り組む事業の抽出
- ✓ デジタル化に関する事業の抽出
  - 関係団体ヒアリング時に活用した「第2期総合戦略とデジタル化のメニュー表」（※資料11）も参照していただく。